

2024年7月21日 ちょっと待った！マイナ保険証 現行の保険証存続を求める 県民集会

<連絡先>長野県社会保障推進協議会 380-0838 長野市県町 593 長野県高校教育会館 3階
TEL 026-219-6314 <http://www.n-syaho.com> E-mail: naganosyahokyoul281@star.ocn.ne.jp

保険証をなくさないで！ 世論ひろげよう



長野市で7月21日、現行の保険証存続を求める県民集会を開催しました。主催は同実行委員会（県保険医協会、県医労連、県民医連、県難病連、県労連、障県協、県社保協）。参加者は、国への意見書採択が全国最多ですすんでいる長野県から「保険証をなくさないで！」の県民世論をさらに広げようと、参加者全員でアピール。メイン会場に90人、オンラインで70カ所をつなげて行いました。

指摘し「保険証を残そう、国は医療機関をいじめないでの声を広げよう」とよびかけました。講演は「長野県社会保障推進協議会」のホームページ <http://www.n-syaho.com> から視聴できます（約1時間）。



こちらのQRコードから
YouTube で観ることもできます。

経済ジャーナリスト 荻原博子さんが講演



経済ジャーナリストの荻原博子さんが「マイナ保険証の罠」と題し講演をしました。荻原さんは、マイナ保険証一本化が地域医療体制を崩壊させるとば口になってしまうと

スピーチ・活動報告 集会後に宣伝行動

年金者や医療関係者、弁護士も訴えました。県保険医協会は、マイナ保険証をめぐる県内医療機関でのトラブル実態アンケート調査が世論を動かす力となり、県内34市町村議会が国に意見書をあげたことを紹介しました。集会後には長野駅前でも宣伝も行い、市民に署名をよびかけました。